

当時軒を連ねていた商店は今は疎ら、通る人も少なく、多くなつたのは車だけ、道幅を広げてきれいに舗装された歩道が寂しげに見える。

私たち七期は女生徒六名、三学年合せても二十四名だった。先輩の怖い指導での応援歌の練習に始まり、文化祭、運動会、クラスマッチ、部活(新聞部では良い仲間恵まれ、付き合いは今も続いている)など建替前の旧校舍には沢山の思い出が詰まっていた。

授業は勿論、意識の上でも男女の区別なく過ごした三年間は、私のこれまでの生き方の芯となつたかけ替えの無い大切な時間であった。

高速道路のトンネルを抜けると、遠くに飯綱山、その手前には屋根に天文台をのせた懐かしい魂の故郷、我が母校が見えて、何とも言えない安堵感が心を満たしてくれる。

この会の幹事であります竹前皓司氏が十年前の平成十六年一月の会報に東京鳩八ゴルフ会の紹介を掲載致しました。その時は当会は十七回目の開催が終了した頃でした。その後会員も増えると同時に東京以外の居住者が多くなり、関東鳩八と名称変更致しました。

関東鳩八ゴルフ会

高校八回生 丸山 實

平成二十二年十二月には百回の開催となり、忘年ゴルフ大会として継続していた大熱海国際ゴルフクラブで開催されました。記念のネーム入りゴルフバッグ用タグが幹事長より渡され、大変好評で喜ばれ盛り上がりました。

この忘年ゴルフ大会と夏の大会として、平成十八年七月に郷

里の長野での実施が計画されて菅平高原コントロールクラブで長野鳩八会を招いての大会となり二十四名の参加者で久しぶりの郷里での同窓とのゴルフは大変懐かしい楽しい会となりました。これを機に東京の梅雨を避けての七月の会が継続されておりま

さて、この会の原点となる毎月実施されている東京での会は、会長の荒井忠夫氏のメンバーコースである赤羽ゴルフクラブで継続されておりま

最後となりますが、この会を立ち上げた会長荒井忠夫氏、幹事長竹前皓司氏にはこの場をお借りし「感謝」「感謝」です。

母校に「新素材開発の研究装置」を寄贈

高校九回生 山崎裕一

インタビュー 東京鳩会 幹事

インタビューにて研究装置の概要と寄贈の理由を伺う

Q、母校に貴重な装置を寄贈されたようですが何の装置でしょうか

A、新素材開発の研究用の装置です。育成方法には各種ありますが、本装置は「単結晶引上げ装置」と言い、小型単結晶を育成するものです。

Q、ではなぜ新素材開発の装置に関係されたのですか

A、1980年代にカリフォルニアのヒューズ研究所を訪ねて、世界初のレーザーを発明したメイマン(T. H. Maiman)博士の研究紹介が開発の動機・基礎となりました。私自身の専門分野でありませんが、この装置は国内外の「新素材開発と研究」に不可欠のものと考えております。

Q、SSH(スーパーサイエンスハイスクール)の母校と装置との関係はどうなんでしょうか

A、母校がSSH校に指定された時から何かお手伝いをしたいと考えておりました。素材開発の研究や大学の先生方から、最近の若い人は素材開発の研究を嫌う傾向があり学生が集まらないとの話を伺い

Q、高校生が新素材開発をするには早すぎませんか

A、次代を背負う若い研究者を育成するには高校生から素材開発に興味を抱かせる動機が必要であると考えました。新素材開発の講座を設けている高校が数校に限られています。すでに、東工大付属高校では大型の育成装置を活用しており結晶育成を希望した生徒が入学してくるとの話聞きま

高校十回生 中山宣子

要約筆記のボランティア

十数年前までは、自分の好きな事ばかりをしてきました。しかし、何か社会に貢献できないだろうか考えるようになりま

Q、母校の若い人達に期待することはどんなでしょうか

A、幸い母校はSSHで好成績を生みだしている現状に加え、今後新分野を展開し、本装置が活用され新素材開発に興味を持った学生が一人でも多く輩出されれば非常に嬉し

く思います。

有難うございました。本装置が活用され近未来に素材開発に携わる若者が輩出されることを期待しています。

ライター人生

高校十二回生 河口 凌

松代の在、旧東条村に生れた私には、小学六年生の修学旅行で初めて見た直江津の海は大きなショックであった。その感動が忘れられず海辺の町に住みたいと、小田原に暮らして半世紀

海幸や箱根、湯河原の温泉に近い小田原は、小田原城と一夜城の二城を始めとする歴史的資源も多く残されているが、そんな環境に長く住んでいながら余りにもこの町を知らないことにリタイア後気付かされたので

現在「多摩市要約筆記サークル」に所属活動しています。月に2回、定例会が開かれ、要約筆記の練習をしています。

高校十五回生 高砂和子

月一回の山行を楽しんで

私は昭和三十八年に当時の屋代東高校を卒業し上京、四十二年から公務員として働きながら子育てをしてまいりました。当時は四か月間の産休のみで職場復帰し、同僚には産休や子ども

最後にありますが、会員の皆様の益々のご活躍をお祈りしております。また、女性の後輩の皆様、仕事と子育ての両立は大変

最後にありますが、会員の皆様の益々のご活躍をお祈りしております。また、女性の後輩の皆様、仕事と子育ての両立は大変

最後にありますが、会員の皆様の益々のご活躍をお祈りしております。また、女性の後輩の皆様、仕事と子育ての両立は大変

と親戚の応援など何かと故郷との接点が増してきています。月イチのクルマ帰郷が億劫になり、そろそろ終焉の地に戻る時期かなと思う此の頃である。

要約筆記のボランティア

高校十四回生 中山宣子

十数年前までは、自分の好きな事ばかりをしてきました。しかし、何か社会に貢献できないだろうか考えるようになりま

Q、母校の若い人達に期待することはどんなでしょうか

A、幸い母校はSSHで好成績を生みだしている現状に加え、今後新分野を展開し、本装置が活用され新素材開発に興味を持った学生が一人でも多く輩出されれば非常に嬉し

高校十五回生 小林和男

姥捨の棚田から

きらきらと、黄金色に染まった姥捨の棚田。たわわに実った稲田の眼下に、ゆったりとうねって流れる青い千曲川。はるか東の稜線に優しくなだらかな

最後にありますが、会員の皆様の益々のご活躍をお祈りしております。また、女性の後輩の皆様、仕事と子育ての両立は大変

最後にありますが、会員の皆様の益々のご活躍をお祈りしております。また、女性の後輩の皆様、仕事と子育ての両立は大変

最後にありますが、会員の皆様の益々のご活躍をお祈りしております。また、女性の後輩の皆様、仕事と子育ての両立は大変

Table with 2 columns: Name and Address/Role. Includes members like 片山久, 笠井源吾, 榑崎正義, etc.

鐘台山。そして、手前に広がる緑豊かな屋代の郷。視線を少し左に振ると、うっすらと、白くて丸い円筒が、飛び込んで来る。そう、今も、昔も変わらずに、屋代東のシンボル！ 天文台だ。

この風景、あの母校を目にする、懐かし、高校時代に浸る至福の時だ。

当時、屋代東高のグラウンドは拡張され、文武両道を目指して各運動部は活発だった。特に、野球部、ハンドボール部、柔道部、弓道部、水泳部等々は活発で、特に北信地区では強豪・有力部だったと思う。

小生は野球部へ。玉拾いからスタート。ひたすらボールを追いかけて、汗にまみれた五十数年の野球部時代が懐かし、今でも鮮明に思い出される。特にボールは貴重品で新人一年生は、グラウンド守備より垣根越えのボール探し・水田守備の方が長かった記憶。

夏休み中の野球部練習、特訓に、とてつもない大先輩が参加してきた。バッティング練習を始める、全てが場外ホームラン。外野のフェンスを越えて田植えの終わった水田へ。我々一年坊主はスパイクを脱いでボール探し。それもそのはず、東京六大学野球、神宮で活躍、早稲田大学の四番でホームランバッター。野球少年だった小生にはあこがれの先輩。屋代東の伝説の人でもあるその人の名前は春原大先輩。

書き進めていくと、止めども無く屋代の風景にいろいろな場面がフラッシュバックされてくる。屋代東を卒業して半世紀、改めて振り返ってみると屋代東の三年間は、その後の人生の魂とふるさととなった。

伊東への旅行

高校十七回生 市川清二

九月初旬の連休に家族と一泊二日で伊東に行った。東京から踊り子号に乗って一時間四十分程度で目的地に着く。ちよっとした小旅行だ。

一日目は、チェックイン後、温泉に入り温泉街を散策、夕食は伊豆の海・山の幸を使った会席料理を楽しんだ。二日目は、朝食に地元特産の干物と薄味の和定食を食べ、午前中は城ヶ崎海岸まで足を延ばし絶景を楽しんだ。お昼に駅前の居酒屋で鮮度落ちがはやく地元でしか食べられない「うずわ」を肴に一杯やって帰路についた。

大変楽しくリラックスできた旅行だった。家族で過ごす時間の貴重さをあらためて感じた。今回の旅行は息子を中心に子供達が手配してくれた旅行だった。定年後、家族で泊りは久しぶりだった。家に引きこもりがちな私に対する子供達からの気遣いを感じた。大変嬉しかった。みんなありがとう！

ただ、子供達にいろいろいいので早く良い伴侶を探せと！それが私の目下一番の気がかりである。

68歳最後の冒険

高校十七回生 廣田正文

ニュージランドジェット機操縦、戦車操縦、という日本のテレビ番組を見て、私も20年前はモーターグライダーを操縦していたので2013年、10月22日に家内と出発。24日、クライストチャーチ国際空港内、簡単なブリーフィングを受け、重力6Gに耐えるため耐圧スーツを着させられる。

ジェット機は、アエロロ― se_hirota@hotmail.com



または FAX 0431486187 87まで。

私の仕事

高校五十七回生 渡邊優

私は、トランペット奏者として仕事をしています。自分の好きなことを仕事にできるということは、とても幸せなことだと思います。とくに吹奏楽やオーケストラ、ビッグバンドなどは、ソロで演奏することと違い、たくさんの方と一緒に演奏するため、音楽の楽しさをより一層実感できます。

しかし、それを仕事にすることは、楽しいことばかりではありません。仕事として演奏するため、ミスは許されないので。また、見に来てくださる方々のために、毎回最高の演奏をしな

ために、毎回最高の演奏をしなればなりません。

良い演奏をするためには、技術面はもちろん精神面もとても大切です。本番では、必ずといっていいほど緊張するため、強い精神力が必要とされます。適度の緊張は、アドレナリンが分泌され集中力を高めてくれますが、自分の演奏に不安があるときなどは、手が震え、息が吸えなくなるほど緊張してしまい、思うように楽器が吹けなくなってしまうこともあります。

そうならないためには、やはり日々の練習が不可欠です。練習で完璧にできることは、本番でもできるは限りませんが、自分の自信には繋がります。自信を持って演奏できるように、これからも努力を怠らず、精進していきたいと思っています。

東京鳩会役員名簿(平成27年4月)(案)

Table with columns for positions (会长, 副会長, etc.) and names of members. Includes a list of 高校学年幹事 (High School Year Officers) and 監事 (Supervisors).

屋高ふるさと会担当幹事 (若干名)
ゴルフ部(会長:吉村 弘、幹事:浅野井 眞)
ふるさと会(例:ハイキング、旅行、まんが描き、写真会、などの企画)
相談コーナー(例:建築設計・施工関係、不動産・資産関係、介護関係、パソコン操作関係、など)
屋高ふるさと(親睦)会の親睦に合わせて

第32回 東京鳩会総会開催

日時 平成27年2月28日(土) 受付 午後2時30分~
開会 午後3時
場所 銀座東武ホテル 2階「桜の間」

Large table listing members of the Tokyo Pigeon Club, including names, addresses, and contact information for various branches and committees.

総会

第31回東京鳩会総会が平成26年2月22日(土)八重洲富士屋ホテルに於いて約90名の参加者で開催。従来は夕方6時開会であったが、今回は正午開会となった。河口収幹事長(高14回)の挨拶・司会が始まり、仁科陽氏(高14回)のリードで、竹内冴さん(高57回)のピアノ伴奏に合わせて校歌を斉唱。続いて、伊東博道氏(高20回)より過去1年間の物故者氏名を披露の上、黙祷して、ご冥福をお祈りした。

柿崎正義会長(高9回)よりは信州からの来賓のご臨席に謝意を表し、過去1年の和

山を中心とした大水害、アベノミクス、消費増税、東京オリンピック招致成功に貢献された高円宮妃殿下の気品漂うフランス語でのスピーチ等のトピックスに触れ最後に会員各位の今後の変わらぬ協力願う挨拶があった。続いて、伊東氏より第25期の事業・活動報告及び決算報告、更に第26期事業・予算計画を報告拍手をもって承認された。東京鳩会の財政状況に鑑み会報への広告掲載による寄付金を会員有志から募ることも報告があった。

来賓の御紹介に続き、先ず宮崎和順会長よりご挨拶。昨年末の本校創立90周年記念式典のご報告があり、記念事業としての1)同窓会館建設資金の確保2)クラブ活動への資金援助、への協力に謝意を表明された。恒例のシンポジウム・フォーラムの報告、更に中高一貫に伴い、校内が若返り自然に子供を慈しむという気持ち湧く、「小さきものは皆美しい」(枕草子)を引用された。高橋康人学校長よりのご挨拶では、従来の普通科、理数科及び附属中学校(中高一貫)の三位一体での教育の充実に邁進していること、スーパーサイエンス指定校として一般文科省の審査で最高ランクのA評価を受けたこと、班活動でも剣道団体・個人、女子山岳班、陸上(個人)、ギター・マンドリン、将棋(個人)での全県制覇という実績そして大学入試でも頑張っており、いい成績が期待できるだろうとご披露があった。

第2部の懇親会は岡田正夫氏(高17回)の司会のもと、先ず千野郁雄氏(高12回)による乾杯の音頭で始まり、メインイベントは渡邊優さん(高57回)のトランペット演奏、ピアノ伴奏は竹内冴さん(同じく高57回)。曲は「いい日旅立ち」「あまちゃん」「A列車で行こう」「ふるさと」の4曲。万雷の拍手に包まれてお二人に花束贈呈、大好評であった。次に、恒例の高橋修氏(高22回)のリードで信濃の国、応援歌「東の空に」「北斗の星の」を声高らかに斉唱。最後は、千野郁雄氏実家である川中島「酒仙蔵野」より取り寄せたにがり酒 400cc瓶1ダースの抽選会を、倉島洋二氏(高19回)リードで実施、大いに盛り上がった。最後は中澤好邦氏(高11回)の閉会の辞でお開きとなった。



総務担当 伊東博道氏



東京鳩会会長 柿崎正義氏



校歌リード役 仁科 陽氏



幹事長 河口 収氏



乾杯 千野郁雄氏



司会者 岡田正夫氏



学校長 高橋康人氏



同窓会長 宮崎和順氏



抽選リード役 倉島洋二氏



応援歌のリード役 高橋 修氏



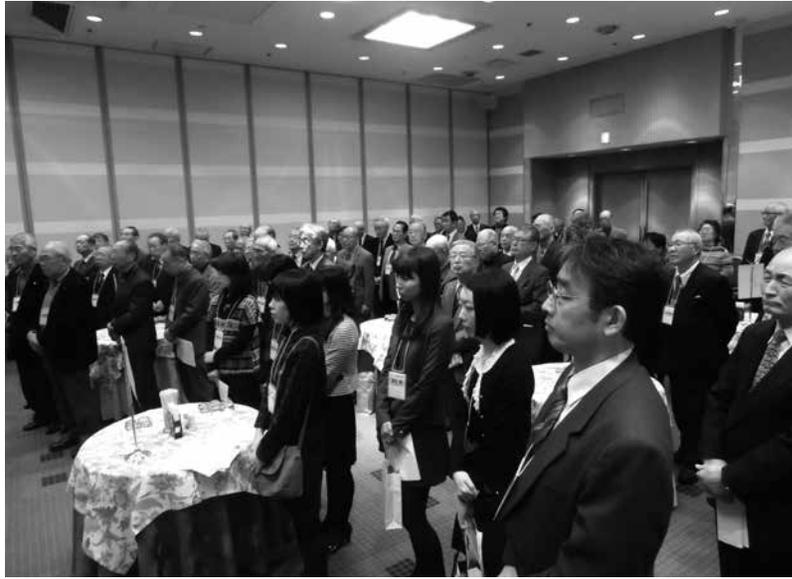
ピアノ伴奏者 竹内 冴さん



トランペット奏者 渡邊 優さん



御来賓



総会風景



出演者に花束贈呈



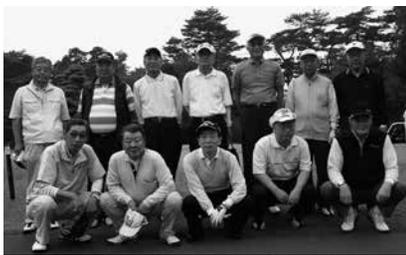
応援歌を熱唱。若手会員頑張れ!



懇親会の一コマ



テーブルを囲んで



第60回 東京鳩会ゴルフコンペ報告
年二回開催のゴルフコンペですが、早いもので、春の例会が丁度60回となりました。今回は鳩会ゴルフの経過と、60回コンペの報告をします。
私が鳩会ゴルフに初めて参加した時は、平林 林さん(中17)が会長で千葉カントリークラブ開催でした。私たち(高13回)は一番の若手でした。その後、井口 昂(高4回)さんが会長を引き継がれ、現在の紫カントリークラブ、平日の開催になりました。

東京鳩会 第31期決算報告 (自平成25年4月：至平成26年3月) 単位:円

収入金額		支出金額	
前年度繰越金	78,814	総会費用	458,000
年会費	430,000	イベント、土産代	83,800
会報広告料	135,000	事務費	109,791
総会参加費	685,000	会報印刷発送料	502,552
祝儀	32,000	役員活動費	20,000
		通信費	1,565
		雑費	25,670
収入合計	¥1,360,814	支出合計	¥1,201,378
次期繰越金額			¥159,436

編集後記
会員各位のご協力・ご寄稿等により会報第23号を出稿できましたこと感謝申し上げます。
本年は、冬は大雪になり夏は猛暑、秋には信濃の国の歌詞の御嶽山の噴火、代々木公園等のデング熱、又西アフリカではエボラ出血熱等身近にありましたが、会員の皆様がお身体に気を付けてご活躍下さいますようお願い申し上げます。
尚、広告に伴う寄付金のご協力・ご支援に感謝申し上げます。又、若手会員の参加・活動を期待してまいります。
千野郁雄

東京鳩会ホームページ
東京鳩会のホームページにて、総会出欠の返事も出来ますので、下記アドレスにアクセスして下さい。そのほか皆様からの情報や投稿を随時お待ちしております。またホームページ編集委員を募集しています。メールでご連絡下さい。
<http://www.t-hato.jp> メール: info@t-hato.jp